# 岐阜アパレル・縫製産業景気動向調査

# 第1部 アパレル産業

## 1. 調査要領

(1)調査時期 令和6年6月

(2)調査依頼企業数 52社

(3)調査対象期間 令和6年4月 ~ 令和6年6月

(4)回答状况 有効回答数 44社

有効回答率 84.6%

## 《業種別内訳》

業種	依頼数	回答数	回答率
メンズファッション	20社	17社	85.0%
婦人子供服	28社	24社	85.7%
ニット雑貨	4社	3社	75.0%
合 計	5 2 社	4 4 社	84.6%

## (5)調査事項

- ① 売上高
- ② 在庫
- ③ 操業度
- ④ 販売価格・仕入れ価格
- ⑤ 利益率
- ⑥ 資金繰り・借入難度
- ⑦ 業況判断・四半期後の業況見通し
- ⑧ 経営上の問題点
  - (ア) 売り上げの減少
  - (イ) 経費の増加
  - (ウ) 製品安
  - (工) 求人難
  - (オ) その他
- ⑨ 海外生産の割合
- ⑩「物価高騰等」の影響度

## 2. アパレル産業景気動向調査結果の概況

岐阜アパレルは、「売上高」DI、「操業度」DI等の項目で改善を示したが、「商品在庫」DI、「仕入価格」DI等の項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DIの前回比較で「売上高」DIで9.2ポイント、「操業度」で7.1ポイント改善した一方、「商品在庫」DIで17.4ポイント、「仕入価格」DIで9.9ポイント悪化したことである。

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「経費の増加」の順となった。

回答企業のコメントとしては「売上は不変も費用増加により粗利率は低下」(メンズ)「川上(仕入部分)と物流の値上げが激しい」(婦人子供服)「春物の不振に続き、夏物も不振」(ニット)等の意見が聞かれた。

## 3. アパレル産業景気動向調査結果

#### ①売上高の動向

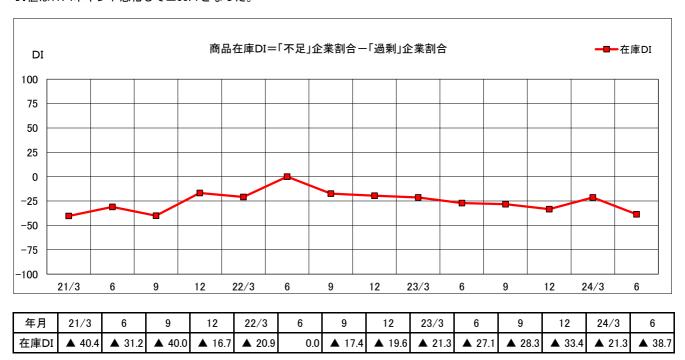
今期、売上高が「増加した」とする企業は18.2%で、前回の12.8%から5.4ポイントの増加となった。 一方、「減少した」とする企業は40.9%で、前回の44.7%から3.8ポイントの減少となった。

DI値は9.2ポイント改善して▲22.7となった。



#### ②在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は4.5%で、前回の6.4%から1.9ポイントの減少となった。 一方、「過剰」とする企業は43.2%で、前回の27.7%から15.5ポイントの増加となった。 DI値は17.4ポイント悪化して▲38.7となった。



#### ③操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は2.3%で、前回の2.2%から0.1ポイントの増加となった。 一方、「低下した」とする企業は25.6%で、前回の32.6%から7.0ポイントの減少となった。



## ④販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は27.3%で、前回の29.8%から2.5ポイントの減少となった。

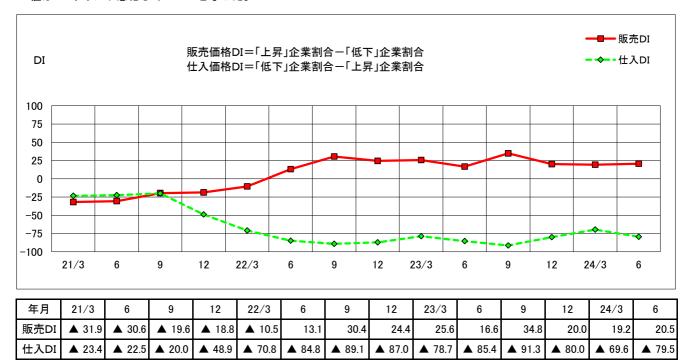
一方、「低下した」とする企業は6.8%で、前回の10.6%から3.8ポイントの減少となった。

#### DI値は1.3ポイント改善して20.5となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「上昇した」とする企業は79.5%と前回の69.6%から9.9ポイントの増加となった。

DI値は9.9ポイント悪化して▲79.5となった。



## ⑤利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は7.0%で、前回の10.6%から3.6ポイントの減少となった。 一方、「減少した」とする企業は55.8%で、前回の51.1%から4.7ポイントの増加となった。

DI値は8.3ポイント悪化して▲48.8となった。



年月	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9	12	24/3	6
利益DI	▲ 29.8	▲ 28.6	<b>4</b> 9.0	▲ 54.1	▲ 60.4	▲ 60.0	▲ 50.0	<b>▲</b> 46.6	▲ 53.2	<b>▲</b> 41.7	<b>▲</b> 41.3	▲ 46.6	<b>▲</b> 40.5	▲ 48.8

2.4

#### ⑥財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は13.6%で、前回の14.9%から1.3ポイントの減少となった。

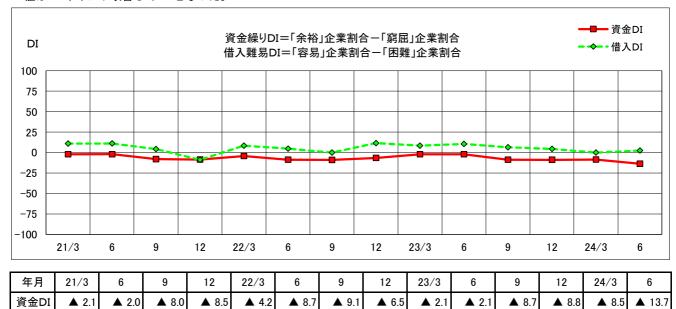
一方、「窮屈」とする企業は27.3%で、前回の23.4%から3.9ポイントの増加となった。

#### DI値は5.2ポイント悪化して▲13.7となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は14.0%で、前回の17.8%から3.8ポイントの減少となった。

一方、「困難」とする企業は11.6%で、前回の17.8%から6.2ポイントの減少となった。

DI値は2.4ポイント改善して2.4となった。



#### ⑦業況総合判断

10.9

借入DI

今期、業況判断が「好転」とする企業は7.0%で、前回の8.7%から1.7ポイントの減少となった。

8.4

4.7

0.0

11.6

8.5

10.5

一方、「悪化」とする企業は46.5%で、前回の41.3%から5.2ポイントの増加となった。

**&** 8.8

#### DI値は6.9ポイント悪化して▲39.5となった。

11.1

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は11.6%で、前回の10.6%から1.0ポイントの増加となった。

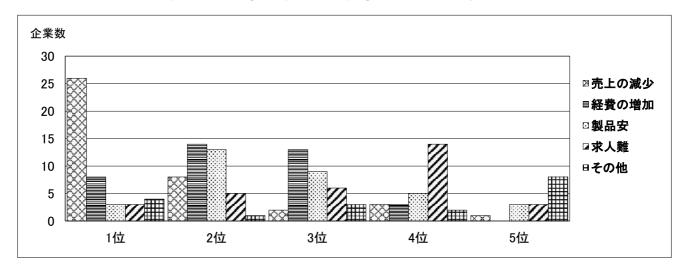
一方、「悪化」とする企業は39.5%で、前回の31.9%から7.6ポイントの増加となった。

DI値は6.6ポイント悪化して▲27.9となった。



## ⑧経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位「売上の減少」、2位「経費の増加」の順となっている。

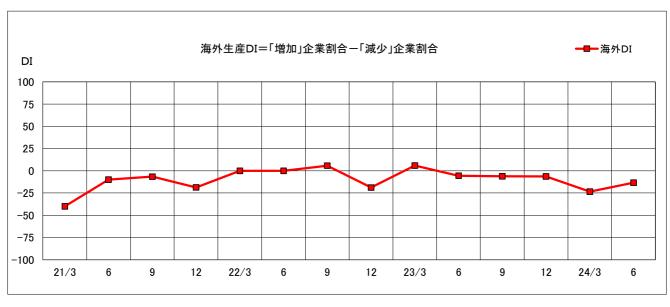


	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
売上の減少	26	8	2	3	1	40	175
経費の増加	8	14	13	3	0	38	141
製品安	3	13	9	5	3	33	107
求人難	3	5	6	14	3	31	84
その他	4	1	3	2	8	18	45

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

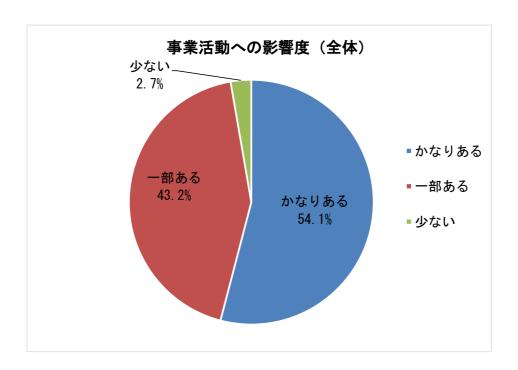
## ⑨海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。 一方、「減少した」とする企業は13.3%で、前回の23.5%から10.2ポイントの減少となった。 DI値は10.2ポイント増加して▲13.3となった。



年月	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9	12	24/3	6
海外DI	<b>4</b> 0.0	▲ 10.0	<b>▲</b> 6.6	▲ 18.7	0.0	0.0	5.8	▲ 18.8	5.9	▲ 5.6	<b>▲</b> 6.2	<b>▲</b> 6.3	▲ 23.5	▲ 13.3

# ⑩「物価高騰等」の事業活動への影響



事業活動	への影響度	メンズ	婦人子	ニット・ 雑貨	全	体
	かなりある	7	12	1	20	54.1%
<b>地グラック</b>	一部ある	8	7	1	16	43.2%
物価高騰等の 影響度	少ない	0	1	0	1	2.7%
₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	ない	0	0	0	0	0.0%
	合計	15	20	2	37	100.0%

## <メンズファッション>

## ①売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は23.5%で、前回の16.7%から6.8ポイントの増加となった。 一方、「減少した」とする企業は23.5%で、前回の50.0%から26.5ポイントの減少となった。



#### ②在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。 一方、「過剰」とする企業は35.3%で、前回の16.7%から18.6ポイントの増加となった。

DI値は18.6ポイント悪化して▲35.3となった。



#### ③操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は6.3%で、前回の5.9%から0.4ポイントの増加となった。 一方、「低下した」とする企業は6.3%で、前回の11.8%から5.5ポイントの減少となった。

#### DI値は5.9ポイント改善して0.0となった。



#### ④販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は47.1%で、前回の38.9%から8.2ポイントの増加となった。

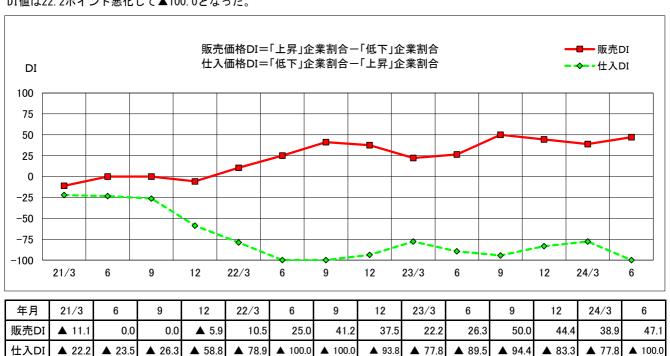
一方、「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

#### DI値は8.2ポイント改善して47.1となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「上昇した」とする企業は100.0%で、前回の77.8%から22.2ポイントの増加となった。

#### DI値は22.2ポイント悪化して▲100.0となった。



#### ⑤利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は17.6%で、前回の16.7%から0.9ポイントの増加となった。 一方、「減少した」とする企業は58.8%で、前回の50.0%から8.8ポイントの増加となった。

DI値は7.9ポイント悪化して▲41.2となった。



## ⑥財務の状況

借入DI

47.1

25.0

26.3

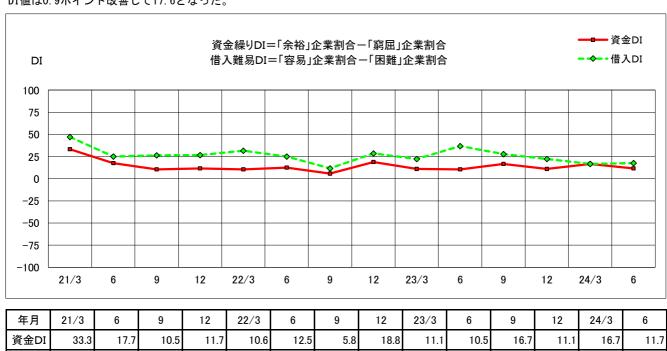
26.7

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は23.5%で、前回の27.8%から4.3ポイントの減少となった。 一方、「窮屈」とする企業は11.8%で、前回の11.1%から0.7ポイントの増加となった。

## DI値は5.0ポイント悪化して11.7となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は23.5%で、前回の27.8%から4.3ポイントの減少となった。 一方、「困難」とする企業は5.9%で、前回の11.1%から5.2ポイントの減少となった。

DI値は0.9ポイント改善して17.6となった。



11.7

22.2

36.8

27.8

22.2

16.7

28.6

17.6

25.0

31.6

#### ⑦業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は17.6%で、前回の11.1%から6.5ポイントの増加となった。 一方、「悪化」とする企業は29.4%で、前回の33.3%から3.9ポイントの減少となった。

#### DI値は10.4ポイント改善して▲11.8となった。

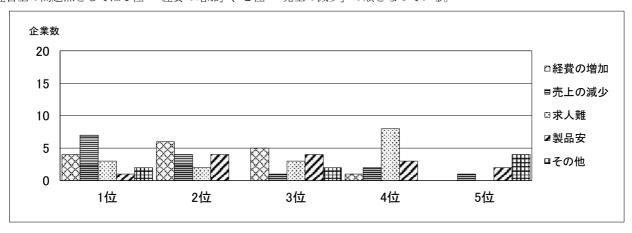
四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は17.6%で、前回の11.1%から6.5ポイントの増加となった。 一方、「悪化」とする企業は29.4%で、前回の27.8%から1.6ポイントの増加となった。

## DI値は4.9ポイント改善して▲11.8となった。



#### ⑧経営上の問題点

経営上の問題点としては1位 「経費の増加」、2位 「売上の減少」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
経費の増加	4	6	5	1	0	16	61
売上の減少	7	4	1	2	1	15	59
求人難	3	2	3	8	0	16	48
製品安	1	4	4	3	2	14	41
その他	2	0	2	0	4	8	20

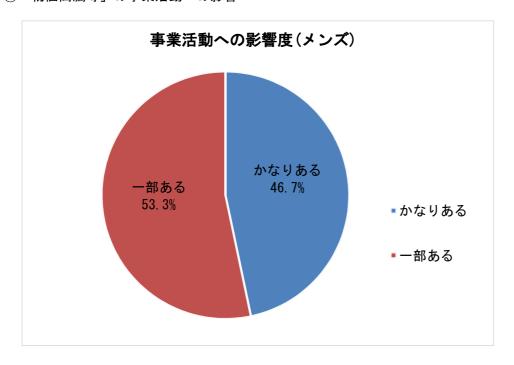
(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

## 9海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。 一方、「減少した」とする企業は10.0%で、前回の18.2%から8.2ポイントの減少となった。



## ⑩「物価高騰等」の事業活動への影響



事業活動~	への影響度	火	バ
	かなりある	7	46.7%
塩ケラ	一部ある	8	53.3%
物価高騰等の 影響度	少ない	0	0.0%
, , , e , <u>, , , , , , , , , , , , , , ,</u>	ない	0	0.0%
	合計	15	100.0%

# 回答企業のコメント

- 原材料費の高騰・光熱費のウエイト増加
- 売上は不変も費用増加により粗利率は低下
- 値上げをお願いすると応じてもらえなくなったり、受注が減ったりしてどうにもならない。
- 経費、負担金が大きくなるばかりで利益に反映させることが難しい。

## <婦人子供服>

#### ①売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は16.7%で、前回の12.0%から4.7ポイントの増加となった。 一方、「減少した」とする企業は54.2%で、前回の36.0%から18.2ポイントの増加となった。 DI値は13.5ポイント悪化して▲37.5となった。



### ②在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は8.3%で、前回の12.0%から3.7ポイントの減少となった。 一方、「過剰」とする企業は50.0%で、前回の40.0%から10.0ポイントの増加となった。

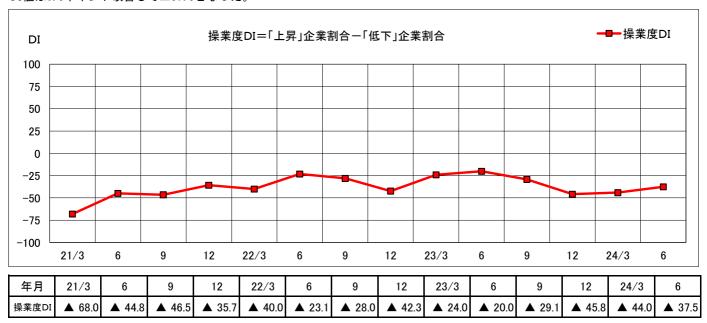


## ③操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「低下した」とする企業は37.5%で、前回の44.0%から6.5ポイントの減少となった。

DI値は6.5ポイント改善して▲37.5となった。



#### ④販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は12.5%で、前回の20.0%から7.5ポイントの減少となった。

一方、「低下した」とする企業は12.5%で、前回の20.0%から7.5ポイントの減少となった。

#### DI値は0.0ポイントで、前回と同じとなった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「上昇した」とする企業は70.8%で、前回の66.7%から4.1ポイントの増加となった。

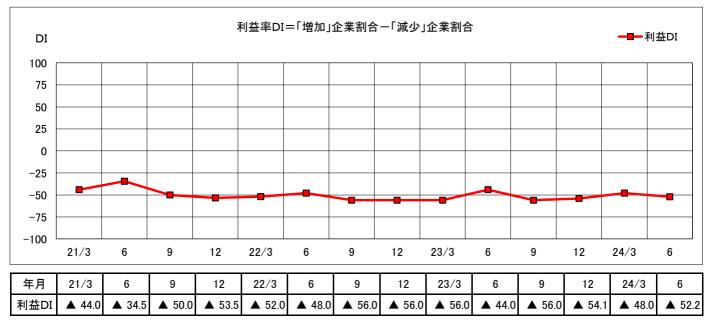
DI値は4.1ポイント悪化して▲70.8となった。



### ⑤利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は0.0%で、前回の8.0%から8.0%イントの減少となった。一方、「減少した」とする企業は52.2%で、前回の56.0%から3.8%イントの減少となった。

DI値は4.2ポイント悪化して▲52.2となった。



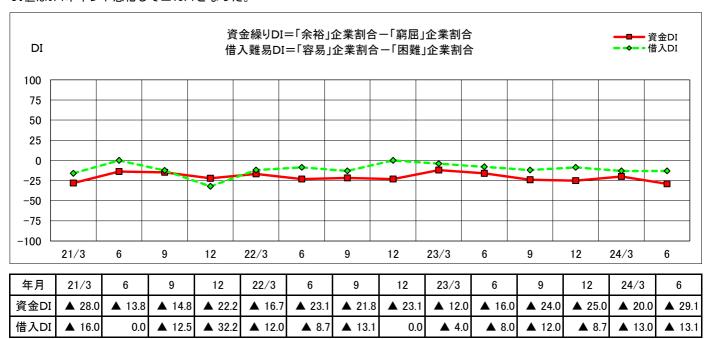
#### ⑥財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は4.2%で、前回の4.0%から0.2ポイントの増加となった。 一方、「窮屈」とする企業は33.3%で、前回の24.0%から9.3ポイントの増加となった。

DI値は9.1ポイント悪化して▲29.1となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は4.3%で、前回の8.7%から4.4ポイントの減少となった。 一方、「困難」とする企業は17.4%で、前回の21.7%から4.3ポイントの減少となった。

DI値は0.1ポイント悪化して▲13.1となった。



### ⑦業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は0.0%で、前回の8.3%から8.3ポイントの減少となった。 一方、「悪化」とする企業は56.5%で、前回の37.5%から19.0ポイントの増加となった。

DI値は27.3ポイント悪化して▲56.5となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は8.7%で、前回の12.0%から3.3ポイントの減少となった。

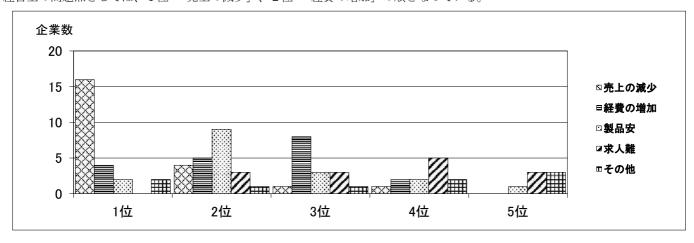
一方、「悪化」とする企業は43.5%で、前回の28.0%から15.5ポイントの増加となった。

DI値は18.8ポイント悪化して▲34.8となった。



## ⑧経営上の問題点

経営上の問題点としては、1位 「売上の減少」、2位 「経費の増加」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
売上の減少	16	4	1	1	0	22	101
経費の増加	4	5	8	2	0	19	68
製品安	2	9	3	2	1	17	60
求人難	0	3	3	5	3	14	34
その他	2	1	1	2	3	9	24

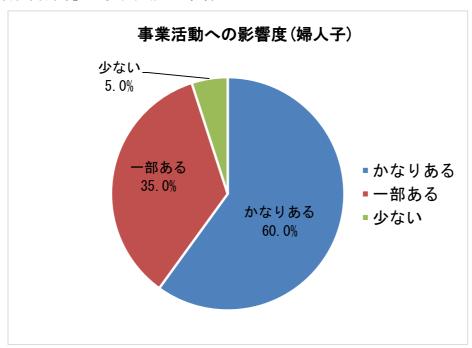
(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

## 9海外生産の割合

今期、海外生産が「増加した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。 一方、「減少した」とする企業は20.0%で、前回の33.3%から13.3ポイントの減少となった。 $DI値は<math>13.3ポイント増加して exttt{$\triangle$}20.0$ となった。



## ⑩「物価高騰等」の事業活動への影響



事業活動~	への影響度	婦人	八子
	かなりある	12	60.0%
4. ケラック	一部ある	7	35.0%
物価高騰等の 影響度	少ない	1	5.0%
<i>₩</i> 6 <i>X</i>	ない	0	0.0%
	合計	20	100.0%

# <u>回答企業のコメント</u>

- 外気温の変動が激しく、夏ものへの移行がスムーズにできなかった。
- 物価高騰の影響は大きい
- 物価高・仕入れ経費増加
- 川上(仕入部分)と物流の値上げは激しく、その分を価格転嫁できない業種として一番苦しい。

## <ニット雑貨>

## ①売上高の動向

今期、売上高が「増加した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「減少した」とする企業は33.3%で、前回の75.0%から41.7ポイントの減少となった。

DI値は41.7ポイント改善して▲33.3となった。

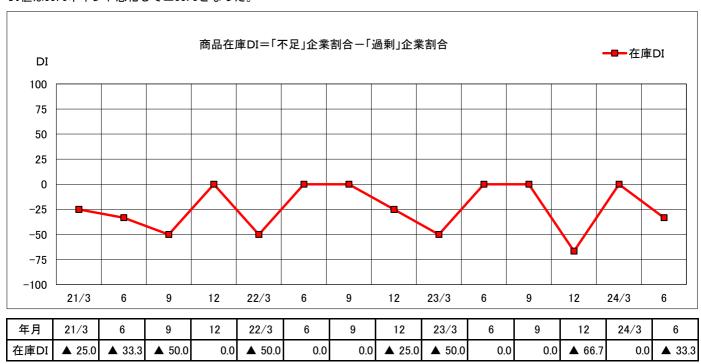


## ②在庫の状況

今期、在庫が「不足」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「過剰」とする企業は33.3%で、前回の0.0%から33.3ポイントの増加となった。

DI値は33.3ポイント悪化して▲33.3となった。



## ③操業度の動向

今期、操業度が「上昇した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「低下した」とする企業は33.3%で、前回の50.0%から16.7ポイントの減少となった。

DI値は16.7ポイント改善して▲33.3となった。



## ④販売価格・仕入れ価格の推移

今期、販売価格が「上昇した」とする企業は33.3%で、前回の50.0%から16.7ポイントの減少となった。

一方、「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

### DI値は16.7ポイント悪化して33.3となった。

今期、仕入価格が「低下した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

一方、「上昇した」とする企業は33.3%で、前回の50.0%から16.7ポイントの減少となった。

DI値は16.7ポイント改善して▲33.3となった。



年月	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9	12	24/3	6
販売DI	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 25.0	33.4	50.0	50.0	75.0	50.0	75.0	50.0	66.7	0.0	50.0	33.3
仕入DI	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 75.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 33.3

### ⑤利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。 一方、「減少した」とする企業は66.7%で、前回の25.0%から41.7ポイントの増加となった。 DI値は41.7ポイント悪化して▲66.7となった。



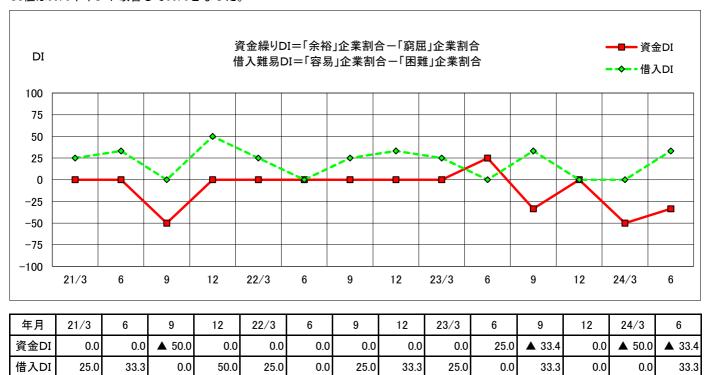
### ⑥財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は33.3%で、前回の25.0%から8.3ポイントの増加となった。 一方、「窮屈」とする企業は66.7%で、前回の75.0%から8.3ポイントの減少となった。

DI値は16.6ポイント改善して▲33.4となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は33.3%で、前回の25.0%から8.3ポイントの増加となった。 一方、「困難」とする企業は0.0%で、前回の25.0%から25.0ポイントの減少となった。

DI値は33.3ポイント改善して33.3となった。



### ⑦業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

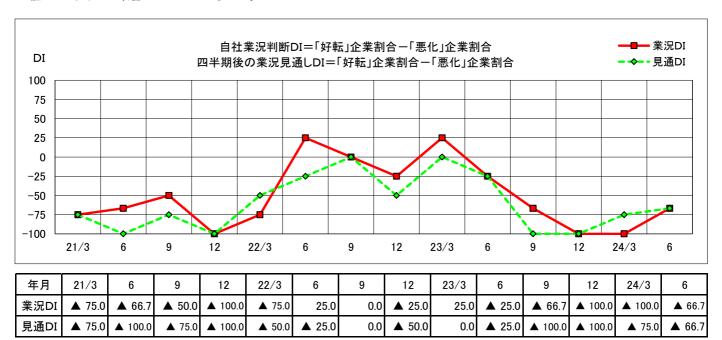
一方、「悪化」とする企業は66.7%で、前回の100.0%から33.3ポイントの減少となった。

DI値は33.3ポイント改善して▲66.7となった。

四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は0.0%で、前回と同じとなった。

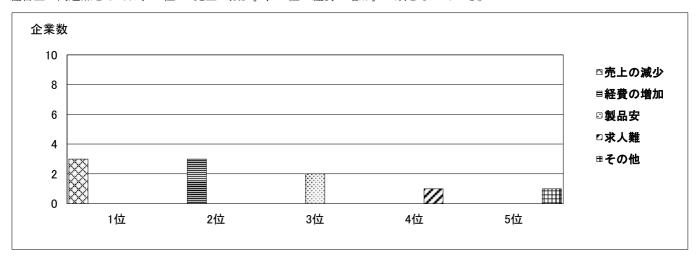
一方、「悪化」とする企業は66.7%で、前回の75.0%から8.3ポイントの減少となった。

DI値は8.3ポイント改善して▲66.7となった。



## ⑧経営上の問題点

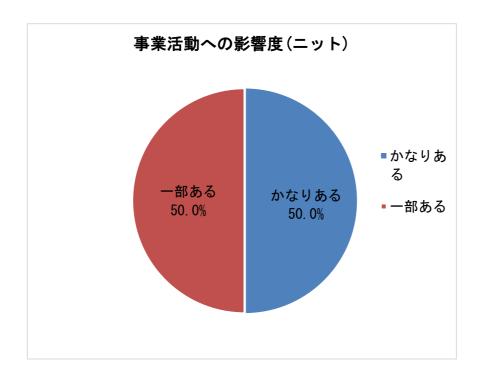
経営上の問題点としては、1位 「売上の減少」、2位「経費の増加」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
売上の減少	3	0	0	0	0	3	15
経費の増加	0	3	0	0	0	3	12
製品安	0	0	2	0	0	2	6
求人難	0	0	0	1	0	1	2
その他	0	0	0	0	1	1	1

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

## ⑨「物価高騰等」の事業活動への影響



事業活動々	への影響度	ニット	•雑貨
	かなりある	1	50.0%
4年で 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	一部ある	1	50.0%
物価高騰等の 影響度	少ない	0	0.0%
, , , e , <u>, , , , , , , , , , , , , , ,</u>	ない	0	0.0%
	合計	2	100.0%

# 回答企業のコメント

○ 春物の不振に続き夏物も不振。物価高で衣料まで手が届かぬ消費者が多い。

# 第2部 縫製産業

## 1. 調査要領

(1)調査時期 令和6年6月

(2)調査依頼企業数 14社

(3)調査対象期間 令和6年4月 ~ 令和6年6月

(4)回答状況 有効回答数 13社

有効回答率 92.9%

## (5)調查事項

- ① 加工賃
- ② 受注
- ③ 操業度
- ④ 利益率
- ⑤ 資金繰り・借入難度
- ⑥ 設備投資
- ⑦ 従業員充足率
- ⑧ 業況判断・四半期後の業況見通し
- ⑨ 経営上の問題点
  - (ア) 加工賃の減少
  - (イ) 原材料費の増加
  - (ウ) 受注減
  - (工) 求人難
  - (オ) その他
- ⑩「物価高騰等」の影響度

# 2. 縫製産業景気動向調査結果の概況

縫製産業は、「業況見通し」DI、「資金繰り」DI等の項目で改善を示したが、「受注」DI、「操業度」DI、「従業員充足率」DI等の項目で悪化を示した。

今期の調査結果の特徴は、DIの前回比較で、「業況見通し」DIで17.3ポイント、「資金繰り」DIで8.3ポイント改善した一方、「受注」DIで38.4ポイント、「操業度」DI、「従業員充足率」DIで30.8ポイント悪化したことである。

経営上の問題点としては、1位「原材料費の増加」、2位「求人難」の順となった。

回答企業からは、「受注量の減少」「円安による外国人技能実習生の求人難」との意見が聞かれた。

## 3. 縫製産業景気動向調査結果

#### ①加工賃の動向

今期、加工賃が「上昇した」とする企業は、15.4%で、前回と同じとなった。

一方「低下した」とする企業は、7.7%で、前回と同じとなった。

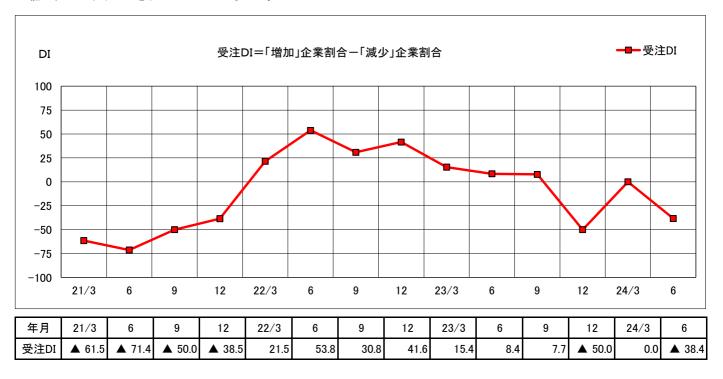
DI値は、7.7ポイントで、前回と同じとなった。



## ②受注状況の動向

今期、受注が「増加」とする企業は、15.4%と前回の 23.1%から 7.7ポイントの減少となった。 一方「減少」とする企業は、53.8%と前回の 23.1%から 30.7ポイントの増加となった。





### ③操業度の動向

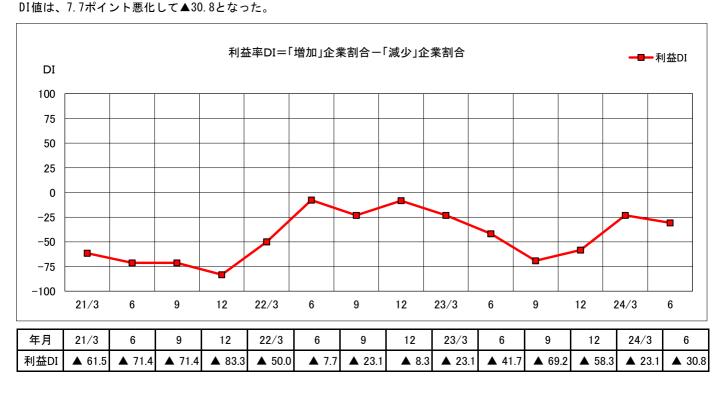
今期、操業度が「上昇した」とする企業は、7.7%と前回の 15.4%から 7.7ポイントの減少となった。 一方「低下した」とする企業は、30.8%と前回の 7.7%から 23.1ポイントの増加となった。

DI値は、30.8ポイント悪化して▲23.1となった。



## ④利益率の動向

今期、利益率が「増加した」とする企業は、7.7%で、前回と同じとなった。 一方「減少した」とする企業は、38.5%と前回の 30.8%から 7.7ポイントの増加となった。



#### ⑤財務の状況

今期、資金繰りが「余裕」とする企業は、8.3%で、前回と同じとなった。

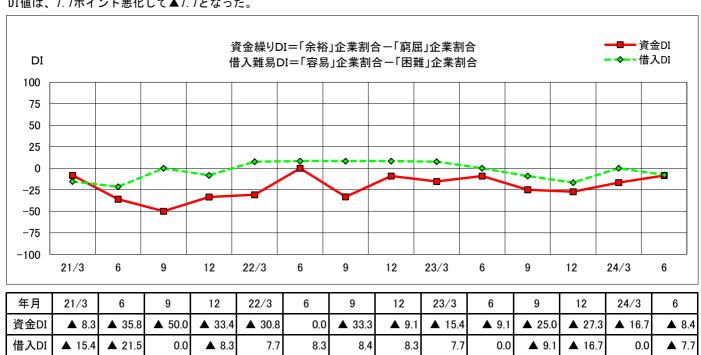
一方「窮屈」とする企業は、16.7%と前回の 25.0%から 8.3ポイントの減少となった。

DI値は、8.3ポイント改善して▲8.4となった。

今期、借入難易が「容易」とする企業は、7.7%と前回の 15.4%から 7.7ポイントの減少となった。

一方「困難」とする企業は、15.4%で、前回と同じとなった。

DI値は、7.7ポイント悪化して▲7.7となった。



#### ⑥設備投資の状況

今期、設備投資が「拡大」とする企業は、7.7%と前回の 15.4%から 7.7ポイントの減少となった。 一方「縮小」とする企業は、23.1%と前回の 15.4%から 7.7ポイントの増加となった。 DI値は、15.4ポイント悪化して▲15.4となった。



## ⑦従業員の動向

従業員充足率が「上昇した」とする企業は、7.7%と前回の 23.1%から 15.4ポイントの減少となった。 一方「低下した」とする企業は、30.8%と前回の 15.4%から 15.4ポイントの増加となった。 DI値は、30.8ポイント悪化して▲23.1となった。



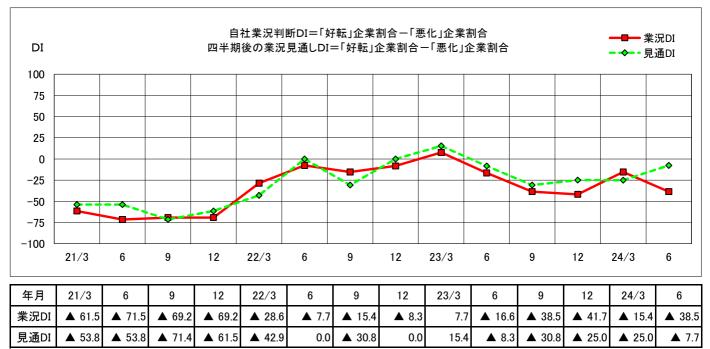
## ⑧業況総合判断

今期、業況判断が「好転」とする企業は、0.0%と前回の15.4%から15.4ポイントの減少となった。 一方「悪化」とする企業は、38.5%と前回の30.8%から7.7ポイントの増加となった。

DI値は、23.1ポイント悪化して▲38.5となった。

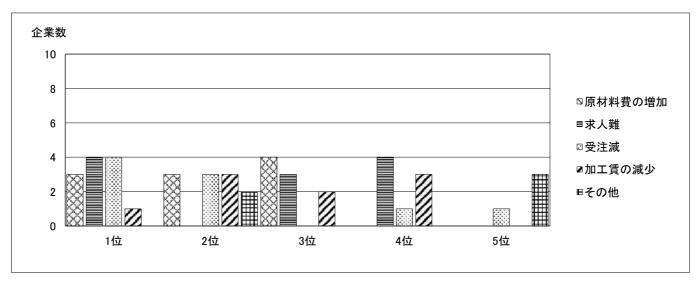
四半期後の業況見通しが「好転」とする企業は、15.4%と前回の 16.7%から 1.3ポイントの減少となった。 一方「悪化」とする企業は、23.1%と前回の 41.7%から 18.6ポイントの減少となった。

DI値は、17.3ポイント改善して▲7.7となった。



#### 9経営上の問題点

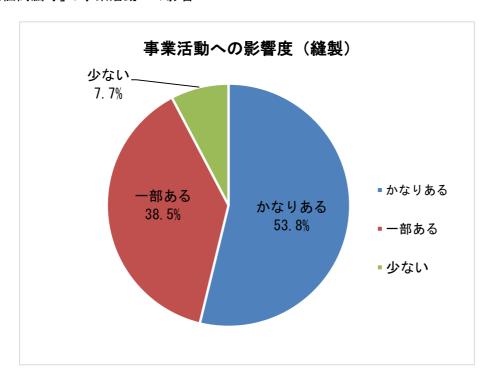
経営上の問題点としては、1位「原材料費の増加」、2位「求人難」の順となっている。



	1位	2位	3位	4位	5位	合計	総得点
原材料費の増加	3	3	4	0	0	10	39
求人難	4	0	3	4	0	11	37
受注減	4	3	0	1	1	9	35
加工賃の減少	1	3	2	3	0	9	29
その他	0	2	0	0	3	5	11

(1位 5点、2位 4点、3位 3点、4位 2点、5位 1点として集計)

# ⑩「物価高騰等」の事業活動への影響



事業活動~	縫	製	
	かなりある	7	53.8%
	一部ある	5	38.5%
物価高騰等の 影響度	少ない	1	7.7%
37 8 72	ない	0	0.0%
	合計	13	100.0%

# 回答企業のコメント

- 雇用や景気感にも二極化がある。
- 縫製業が特定技能に職種追加され、当面は深刻な人手不足はなさそうだが、日本人の雇用は相変わらず厳しい。
- 〇 仕事量が大変少ない。
- 〇 円安による外国人技能実習生の求人難
- 工賃が見合ってない(手間のかかる仕事が増えた)
- 〇 受注量の減少
- ○メーカーに工賃アップを依頼。小売店が商品の値上げをしないと変わらない。

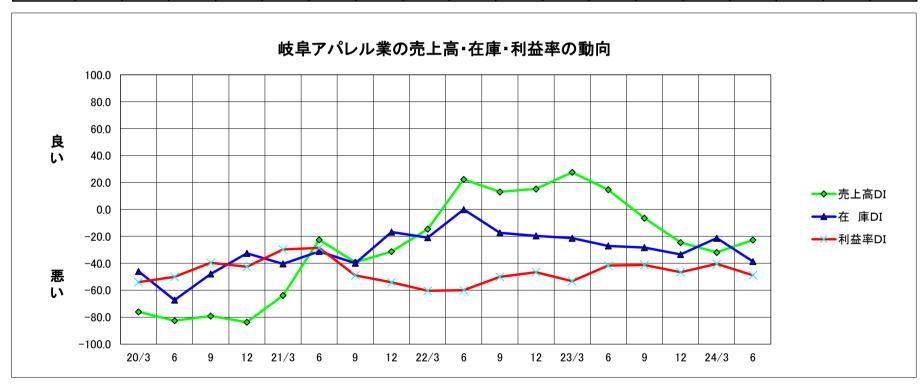
# 岐阜アパレルの動向

○ 売上高DI前期比で+ 9.2 ポイント前年同期比で- 37.3 ポイント○ 在 庫DI前期比で- 17.4 ポイント前年同期比で- 11.6 ポイント○ 利益率DI前期比で- 8.3 ポイント前年同期比で- 7.1 ポイント

## 岐阜アパレル業の売上高・在庫・利益率の動向

#### ※調査対象縫製企業数52社

<u> </u>																		
年・月	20/3	6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9	12	24/3	6
売上高DI	-76.0	-82.7	-79.1	-83.7	-63.8	-22.5	-39.2	-31.3	-14.6	22.3	13.0	15.2	27.6	14.6	-6.5	-24.5	-31.9	-22.7
在 庫DI	-46.0	-67.3	-47.9	-32.6	-40.4	-31.2	-40.0	-16.7	-20.9	0.0	-17.4	-19.6	-21.3	-27.1	-28.3	-33.4	-21.3	-38.7
利益率DI	-54.0	-50.0	-39.6	-42.6	-29.8	-28.6	-49.0	-54.1	-60.4	-60.0	-50.0	-46.6	-53.2	-41.7	-41.3	-46.6	-40.5	-48.8



# 岐阜縫製業の動向

〇 加工賃DI 前期比で+ 0.0 ポイント前年同期比で- 25.7 ポイント〇 受 注DI 前期比で- 38.4 ポイント前年同期比で- 46.8 ポイント〇 利益率DI 前期比で- 7.7 ポイント前年同期比で+ 10.9 ポイント

## 岐阜縫製業の加工賃・受注・利益率の動向

### ※調査対象縫製企業数14社

· / 1 · / / · / · / ·	ストルをスポッパース・スピーコニーマスパー														· 1—			
年·月	20/3	6	9	12	21/3	6	9	12	22/3	6	9	12	23/3	6	9	12	24/3	6
加工賃DI	-53.8	-41.7	-38.5	-41.7	-23.1	-50.0	-21.5	-38.5	7.2	46.1	23.1	50.0	38.5	33.4	23.1	16.7	7.7	7.7
受 注DI	-61.5	-91.7	-75.0	-75.0	-61.5	-71.4	-50.0	-38.5	21.5	53.8	30.8	41.6	15.4	8.4	7.7	-50.0	0.0	-38.4
利益率DI	-76.9	-75.0	-61.5	-58.3	-61.5	-71.4	-71.4	-83.3	-50.0	-7.7	-23.1	-8.3	-23.1	-41.7	-69.2	-58.3	-23.1	-30.8



# アパレルDIの推移

年度	月	売上高	在庫	操業度	販売価格	什入価格	利益率	資金繰り	借入難易	自社の業況総	四半期後の自	海外生産
2006	6	-6.0	-44.0	-16.0	-32.0	-12.0	-20.0		10.0	合判断 -22.0	社業況見通し -16.0	19.2
	9 12	−28.8 −17.0	−36.5 −30.2	-19.2 -15.1	−25.0 −30.2	-19,2 -13,2	-36.5 -30.2	-12.0 -15.4 -11.3	7.7 7.5	−28.8 −20.8	−23.1 −20.8	3.7
	3	-37.0	-25.9	-29.6	-24.1	-33.3	-53.7	-16.7	7.4	-40.7	-29.6	7.4 15.4
2007	6 9 12 3	-26.0 -33.3	-32.0 -23.5	−30.0 −37.3	−36,0 −23,5	-34.0 -39.2	−58.0 −51.0	−12.0 −21.6	8.0 -3.9	-56.0 -52.9	-44.0 -41.2	14.3 3.8
	12	-38.3	-36.2	-31.9 -25.5	-17.0	-44.7	-59.6	-17.0	-4.3	-57.4	-46.8	-10.0
2008	3 6	<u>−26.5</u> −35.2	-22.9 -29.6	−25.5 −20.4	-24.5 -22.2	-42.9	-44.9 -38.9	-12.2 -13.0	-4.1 -1.9	-34.7 -42.6	-39.6 -32.7	-4.0 -14.8
2000	9 1 <u>2</u>	-36.5	-34.6	-20.4 -25.0 -38.8	-72.2 -19.2 -54.0	-42.6 -48.1	-44.2	-13.5	-1.9 -9.6 -10.0	-42.3 -57.1	-32.7 -46.2 -55.1	17.4 -4.8
	12 3	−52.0 −55.4	−44.0 −42.9	-38.8 -50.0	−54.0 −53.6	2.0 8.9	-56,0 -60.7	−20.0 −32.1	-10.0 -7.1	−57.1 −60.7	−55.1 −67.3	-4.8 4.2
2009		-52.8	-32.1	-35.8	-62.3	15,4	-64.2	-28.3	-5.7	-50.9	-54.7	-24.0
	6 9 12	-64.0 -50.9	-32.0 -18.9	-55.1 -37.7	-50.0 -58.5	14.0 15.1	-44.0 -47.2	−22.0 −17.0	−6.1 −3.8	-60.0 -56.6	-56.0 -49.1	-18.2 16.7
	3	-45.5	-7.3	-25.9	-58.2	-1.8	-50.9	-23.6	-7.3	-43.6	-29.1	-3.8
2010	6 9	-30.4 -32.7	-21.4 -27.3	-20.4 -16.4	-60.7 -41.8	-8.9 -9.1	-46.4 -41.8	-12.5 -18.2	−3.6 1.9	-30.4 -32.7	−30.4 −34.5	3.4 -7.1
	9 12	−32.7 −33.3	-18.5	-16,4 -17,0	-41.8 -35.2	-9,1 -2 <u>5</u> ,9	-41.8 -35.2	−18.2 − <u>5</u> .6	7.4	-32.7 -27.8	-40.7	0.0
2011	<u>3</u> 6	II −45.1	-25.5 -38.5	-36.0	-37.3	-47.1	-56.9	-17.6	-2.0 -1.9	-62.7	-69.4 -35.3	4.0 0.0
	6 9	-34.6 -31.5	-40./	-39.2 -25.9	-42.3 -25.9 -32.7	-26.9 -35.2	-42.3 -50.0	-17.7 -18.6	-1.9 -1.9	-42.3 -46.3	-40.0	0.0 4.0
	12 3	−18.2 −8.9	−32.7 −35.7	−25.5 −8.9	_32.7 _30.4	-18.2 -16.1	-41.8 -28.6	-14.6 -7.2	1.8 -1.8	−38.2 −18.2	−31.5 −14.5	14.8 7.1
2012	6	-13.0	-24.1	-18.9	-27.8	-11.1	-38.9	1.8	16.7	-21.2	-19.6	7.4
	9 12	−36.8 −32.1	−36.8 −19.6	-25.9 -14.3	−31.0 −28.6	-8.6 -21.4	−36,2 −53,6	-8.7 -3.7	5.2 5.4	−37.9 −31.6	-29.3 -25.9	0.0 4.2
2012	. 3	II −33.3	-24.1	-27.6	-17.2	-50.0	-60.3	-8.7	1.8	-42.9	-23.2	3.6
2013	6 9	−35.1 −14.6	-27.7 -27.3	-27.7 -11.3	-18.5 -7.4	−53.7 −60.0	-51.8 -47.2	-7.4 -3.6	3.7 5.5	−37.0 −25.9	−27.7 −16.7	21.7 20.8
	12 3	−18.5 −18.8	−16.7 −28.8	−11.3 −20.8	−9,3 −3,8	−47.1 −63.5	−50.0 −62.3	0.0 -7.5	11.1 3.8	−37.0 −43.1	−26.4 −52.9	-7,4 -7,7
2014	6	-34.6	-33.3	-20.8 -29.1 -25.0	-11.0	-47.2	-52.8	-1.8	3.8 7.3	-36.4	-21.8	3.7
	9 12 3	-23.7 -33.9	-38.2 -37.5	−25.0 −30.4	-5.4	−61.8 − <u>69</u> .6	-41.8 -48.2	-14.5 -12.5 -7.5	11.1	-42.6	−38.0 −39.3	5.3 0.0
	3	-41.5	-30.2	-26.5	−1.8 −3.8	-77.4	-66.1	-7.5	0.0 5.8	-41.1 -41.5	-28.9	15.0
2015	6 9	−36.4 −31.6	−25.4 −21.1	−27.3 −15.8	−14.5 −7.0	−72.7 −59.6	-49.1 -49.1	−10.9 −3.5	5.5 1 <u>2.3</u>	-41.8 -38.6	−38.1 −28.1	-10,6 0,0
	12	-49.2	-24.5	-40.3	-14.0	-54.4	-56.2	-8.8	5.2	-47.3	-42.1	0.0
2016	<u>3</u> 6	-29.1 -28.6	-25.5 -32.1	-25.4 -23.2	-12.7 -14.3	-30.9 -21.5	-40.0 -28.5	-1.8 -7.2	16.4 9.0	-36.4 -34.0	-30.9 -28.6	0.0 0.0
	: 0	<b>ା</b> −26 ଥ	-23.2	-30.4	-16.1	-21.5 I	-23.2	-1.8	12.5	-35.7	-37.5	4.0
	1 <u>2</u> 3	−49.0 −31.5	-16.3 -11.1	−25.5 −20.4	−20.0 −14.8	−23. <u>6</u> −31.5	−41.8 −35.2	0.0 1.8	9.1 9.3	−49.1 −27.7	−36.4 −27.8	3,5 13.7
2017	6	-40.0 -33. <u>3</u>	-25.5 -26.3	-23.6	-29.0 -22.8	-32.7	-27.2 -33.3	0.0	10.9	-29.0	-34.5	-8.4
	9 12	_33.3 _19.7	-26.3 -26.8	−19.3 −16.1	-22.8 -33.9	−35.1 −41.1	–33.3 –28.6	−3.5 0.0	15.8 16.1	−28.1 −26.8	−26.3 −28.6	0,0 4.1
2018	3 6	-32.1 -45.6	-21.4 -21.1	-21.4 -33.3	-19.6 -22.8	-41.1 -38.6	<u>−25.0</u> −36.9	1.8 -1.7	17.9 12.3	−26.8 −36.9	−26.8 −35.1	4.4 13.7
<u> </u>	9	II -43.8	-29.8	-33.3	-24.5	-38,6	-38.6	-10.6	8.8	-50.8	-40.3	8.7
	12 3	−52.6 −42.6	−40.3 −31.4	−29.8 −27.7	−26.3 −16.7	-47.4 -50.0	−43.8 −46.3	−3.5 −7.4	21.0 13.0	−54.4 −46.2	−45,6 −38.9	−5.2 −5.2
2019	6	-51.9	-38.8	-33.3	-24.1	-44.4	-40.7	-7.4	7.7	-55.6	-44.5	, <u>ŏ.ō</u>
	9 12	−55.6 −64.7	−24.1 −45.1	−31.5 −37.2	-24.1 -7.4 -17.6	-44.4 -35.1 -33.4	−37.0 −47.0	14.8 −6.0	14.8 22.0	−40.7 −58.8	−51,8 −58.9	0.0 -17.4 -14.3
2020	: 3	-76.0	-46.0	-71.5	-18.0	-14.0	-54.0	-30.7	-4.2	-83.3	-79.6	-31.6
2020	6 9	-82.7 -79.1	-67.3 -47.9	-80.4 -70.2	−28.8 −18.7	-5,9 -19,2	−50.0 −39.6	-21.2 -8.3	14.2 6.6	-90.4 - <u>7</u> 7.1	-80,8 -68,8	-47.6 -42.1
	9 12 3	−79.1 −83.7 −63.8	-47.9 -32.6 -40.4	−66.7 −54.3	−30,6 −31.9	-19.2 -18.3 -23.4	-42.6 -29.8	0.0 −2.1	14.6 10.9	−71.4 −55.3	−68.8 −66.6 −36.1	-42.1 -33.3 -40.0
2021	6	-22.5	-31.2	-40.9	-30.6	-22.5	-28.6	-2.0	11.1	-40.9	-30.1 -41.7	-10,0
	9 12	−39.2 −31.3	−40.0 −16.7	-44.0 -27.7	−19.6 −18.8	-20,0 -48,9	–49.0 –54.1	-8.0 -8.5	4.2 -8.8	−51.0 −37.5	-41.7 -33.4 -37.8	-6,6 -18,7
	3	II −14.6	-20.9	-298	-10.5	-/0.8	-60.4	<b>−4.2</b>	8.4	-3/5	-12.5	0.0
2022	6 9	22.3 13.0	0.0 -17.4	-8.9 -15.5	13.1 30.4	-84.8 -89.1	-60,0 -50.0	-8.7 -9.1	4.7 0.0	−20.0 −32.7	−23.2 −26.6	0.0 5.8
	6 9 12 3	15.2	-19.6 -21.3	-19.5 -13.1	24.4 25.6	-87.0 -78.7	-46.6	-6.5 -2.1	11.6	-30.4	-31.8 -6.6	-18.8 5.9
2023	<u>3</u>	27.6 14.6	-21.3 -27.1	-13.1 -8.5	25.6 16.6	-78.7 -85.4	-53.2 -41.7	<u>−2.1</u> − <u>2.1</u>	8. <u>5</u> 10.5	<u>−10.6</u> −27.1	-6.6 -20.8	5.9 -5.6
	Ď	-6.5	-28.3	-18.2 -29.6	34.8	-91.3	-41.3	-8.7	6.5	-26.1 -35.5	-16.3	-6.2
	9 12 3	−24.5 −31.9	−33.4 −21.3	-30.4	20.0 19.2	-80,0 -69,6	−46,6 −40.5	-8.8 -8.5	4.5 0.0	-32.6	−29.6 −21.3	-6,3 -23,5
2024	6 9	-22.7	-38.7	-23.3	20.5	− <del>7</del> 9.5	-48.8	-13.7	2.4	-39.5	-27.9	-13.3
	12											
	3											

## 縫製DIの推移

<u>縫製DI</u>	の推移										
年度 月	加工賃	受 注	操業度	利益率	資金繰り	借入難易	設備投資	従業員充足率	自社の業況総合	四半期後の自社	海外生産
		-							判断	業況見通し	_
2006 6 9	−6.7 −15.4	26.7 30.8	20.0 0.0	−6.7 −23.1	−33.3 −23.1	-40.0 -30.8	0.0 -23.1	0.0 0.0	13.3 -7.7	6.7 0.0	なし なし
12		-20.0	-20.0	-23.1 -46.7	-23.1 -53.3			-6.7	-7.7 -33.3		なし
3	−20.0 −7.1	-20.0 21.4		-46.7 -14.3	-33.3 -28.6	-40.0 -28.6	−26.7 −21.4	-6.7 -7.1	-33.3 -14.3	−20.0 −14.3	なし
2007 6	-7.1 -6.7	13.3	14.3 6.7	-33.3	-33.3	-20.0	-21.4 -6.7	0.0	-20.0	-20.0	なし
2007 0		L	-6.7				L	-6.7			/なし #?l
12	0.0	13.3	-6.7 -13.3	−26.7 −14.3	-20.0	-13.3	6.7		-13.3	-26.7	なし なし
3	-6.7	-13.3			-13.3	-13.3	-20.0	-6.7	-13.3	-26.7	なし
	-6.7	0.0 -40.0	-13.3	-26.7	-33.3	-20.0	-13.3	0.0 -6.7	-26.7	-26.7	なし
2008 6 9	-33.3		-33.3	-73.3	-40.0 -40.0	-20.0	-26.7		-53.3	-50.0	/なし #?l
12	-33.3	-26.7 -64.3	-26.7	-73.3 -71.4		-33.3	-20.0 -46.2	-20.0	-60.0 -71.4	-73.3 -64.3	/ <u>なし</u> ナミ
3	-42.9	-64.3 -42.9	-57.1		-64.3	-28.6		-15.4			なし なし なし
2009 6	-57.1 -73.3	-42.9 -86.7	-42.9 -80.0	-92.9 -86.7	- <u>57.1</u>	-28.6	-28.6	-14.3	-100.0	-71.4	なし
2003 0					-73.3	-46.7	-46.7	-13.3	-86.7	-80.0	なし
12	-71.4 -66.7	-71.4 -80.0	-57.1 -73.3	−71.4 −80.0	−71.4 −80.0	-30.8 -46.7	−35.7 −46.7	0.0 -28.6	-71.4 -86.7	−57.1 −78.6	7. C
3	-50.0	0.0	-21.4	-78.6	-78.6	-14.3	-35.7	-15.4	-64.3	-57.1	なし なし
2010 6	-46.2	-69.2	-69.2	-84.6	-69.2	-30.8	-61.5	-16.7	-76.9	-69.2	なし
9	-15.4	30.8	15.4	-38.5	-61.5	-41.7	-30.8	-23.1	-38.5	-46.2	なし なし
12	-21.4	0.0	-28.6	-64.3	-53.8	-38.5	-14.3	-23.1	-61.5	-46.2	なし なし
3	13.3	26.7	26.7	-33.3	-53.3	-26.7	-26.7	-33.3	-40.0	-60.0	なし
2011 6	-14.3	-21.4	-14.3	-50.0	-64.3	-35.6	-35.7	-28.6	-42.9	-14.3	なし
9	-7.1	15.4	0.0	-28.6	-57.1	-35.7	-21.4	-14.3	-14.3	-14.3	なし なし
12	-13.3	-33.3	-40.0	-66.7	-40.0	-33.3	-13.3	-6.7	-33.3	0.0	<i>t</i> :   .
3	-20.0	33.3	33.3	-46.7	-53.3	-40.0	-33.3	-20.0	-33.3	-267	なし
2012 6	0.0	-7.1	0.0	-14.3	-28.6	-14.3	-28.6	-14.3	-7.1	-15.4	なし
9	7.1	-35.7	-28.6	-42.9	-42.9	-35.7	-21.4	-7.1	-42.9	-57.1	なし
12	-26.7	-73.3	-71.4	-80.0	-60.0	-13.3	-33.3	-13.3	-66.7	-20.0	なし なし なし なし
3	0.0	-20.0	-13.3	-46.7	-33.3	-40.0	-13.3	-26.7	-40.0	-40.0	なし
2013 6	14.3	-14.3	-14.3	-35.7	-42.9	-35.7	-14.3	-28.6	-35.7	-23.1	なし
9	-8.4	8.4	8.3	-63.6	-16.7	0.0	-8.4	-18.2	-27.3	-27.3	なし なし
12	0.0	-15.4	-30.8	-53.8	-41.7	-38.5	-30.8	-30.8	-38.5	-15.4	なし なし
3	0.0	38.4	0.0	-23.1	-30.8	-23.1	-25.0	-38.5	-30.8	-16.7	なし
2014 6	-14.3	-7.2	-21.5	-50.0	-21.4	-35.8	-14.3	-42 9	-14.3	-21.4	なし
9	-21.4	-14.3	-14.3	-50.0	-42.9	-46.1	-14.3	-50.0	-30.8	-38.5	なし なし
12	0.0	18.2	0.0	-45.5	-27.3	-45.5	-27.3	-36.4	-18.2	-36.4	なし
3	20.0	40.0	33.3	-40.0	-26.6	-26.6	-13.4	-46.7	-26.6	-26.6	なし なし
2015 6	15.4	23.1	0.0	-38.5	-38.5	-15.4	-23.1	-46.2	-15.4	-15.4	なし なし
9	13.3	20.0	0.0	-40.0	-20.0	-13.3	-33.3	-40.0	-13.4	-6.7	なし
12	20.0	20.0	-6.7	-20.0	-33.3	-6.7	-26.6	-40.0	-33.3	-13.4	なし
3	7.1	21.5	-7.2	-28.6	-21.5	-21.4	-14.3	-28.6	-21.4	0.0	なし
2016 6	6.7	-40.0	-20.0	-33.3	-26.7	-6.7	-26.7	-20.0	-13.4	-33.3	なし
9	-7.2	-21.4	-7.1	-42.8	-35.7	-28.6	-28.6	-14.3	-35.7	-35.7	なし なし
12	-21.4	-21.4	-14.3	-50.0	-35.7	-28.6	-28.6	-35.7	-50.0	-57.1	なし
3	-7.2	-21.5	-28.6	-28.6	-28.6	-14.3	-21.4	-21.4	-14.3	-7.1	なし
2017 6	-7.2	-28.6	-57.1	-71.4	-42.9	-14.3	-35.7	-28.6	-64.3	-57.1	なし
9	0.0	-14.3	-14.3	-57.2	-42.9	-28.6	-35.7	-28.6	-35.8	-42.9	なし なし
1 <u>2</u> 3	0.0	-28.6	-28.6	-57.2	-42.9	-21.4	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	なし
3	0.0	7.2	-7.2	-57.1	-50.0	-14.3	-28.6	-42.9	-50.0	-42.9	なし
2018 6	-6.6	-33.3	-33.3	-40.0	-46.7	-13.3	-33.3	-33.3	-40.0	-20.0	なし
2018 6 9 12	-6.6	-26.6	-26.6	-46.6	-53.3	-40.0	-40.0	-40.0	-53.3	-40.0	なし なし なし なし
12	-13.3	-46.7	-40.0	-60.0	-60.0	-20.0	-46.7	-33.3	-60.0	-40.0	<u>なし</u>
3	0.0	-23.1	-15.4	-30.8	-46.2	-30.8	-30.8	-23.1	-38.5	-30.8	少し #>1
2019 6	0.0	-3 <u>5.8</u>	-21.4	-64.3	-42.9	-21.5	-21.5	- <u>35.8</u>	-35.7	-35.7	なし なし なし
9	7.2	-7. <u>2</u>	-7. <u>2</u>	-42.9	- <u>28.6</u>	-14.3	-21.4	-35.7	-14.3	-35.8	/ <u>よし</u> ナミ
1 <u>2</u> 3	-14.3	-50.0	-42.9	-57.1	-50.0	-21.5	-50.0	<u>-21.4</u>	-50.0	-57.1	なし
	-53.8 -41.7	-61.5	-46.2 -93.3	−76.9 −75.0	-58.3 -54.5	-23.1 -20.0	-23.1	-23.1	-76.9	-84.6 -93.3	/なし #:1
2020 6 9	-41.7 -38.5	-91.7 -75.0	-83.3 -20.9	_/0.U	-54.5 -27.3	-20.0 -25.0	-41.7 -46.2	-33.3 -38.5	-83.3 -76.0	-83.3 -76.0	なし
10		-75.0 -75.0	-30.8 -63.6	-61.5 -58.3		-25.0 -8.3	_40.Z	_ეგ.ე _ეე ე	-76.9 -72.7	-76.9 -81.8	なし なし なし
12 3	-41.7 -23.1	−75.0 −61.5	-63.6 -23.1	-58.3 -61.5	-18.2 -8.3	-8.3 -15.4	-25.0 -30.8	-33.3 -38.5	−72.7 −61.5	-81.8 -53.8	/ <u>よし</u> ナ>l
2021 6		-61.5 -71.4	-23.1 -64.3	-61.5 -71.4	-8.3 -35.8	-15.4 -21.5	-30.8 -21.5	−38.5 −28.6		-53.8 -53.8	/なし ナ::l
2021 6 9	−50.0 −21.5	-71.4 -50.0	-64.3 -50.0	-71.4 -71.4	-35.8 -50.0	0.0	-21.5 -7.7	_20.0 _20.6	−71.5 −69.2	-53.8 -71.4	なしなし
12	-38.5	-30.0 -38.5	-50.0 -53.8	-71.4 -83.3	-30.0 -33.4	-8.3	-7.7 -7.7	−28.6 −53.8	-69.2	-71.4 -61.5	<u> </u>
1 <u>2</u> 3	7.2	21.5	-33.6 -21.4	-50.0	-30.4 -30.8	7.7	-7.7 -7.2	-33.6 -78.6	-09.2 -28.6	-01.5 -42.9	なし なし
	46.1	53.8	0.0	-30.0 -7.7	0.0	8.3	0.0	-30.8	- <u>7.7</u>	0.0	7:1
2022 6 9	23.1	30.8	-23.1	-7.7 -23.1	-33.3	8.4	-7.7	-50.6 -53.8		-30.8	なし なし なし なし
12	50.0	30.8 41.6	_16 A			0.4 0つ	_0 2	_25.0 _25.0	-15.4 -8.3	-30.8 0.0	<u> </u>
3	38.5	15.4	-16.6 -7.7	-8.3 -23.1	−9.1 −15.4	8.3 7.7	-8.3 0.0	−25.0 −30.8	-8.3 7.7	15.4	<u> </u>
2023 6	33.4		0.0		-15.4 -9.1	0.0	-16.7	-30.8 -41.7	-16.6	-8.3	7:1
2023 6 9	23.1	8.4 7.7	15.4	−41.7 −69.2	-25.0	-9.1	0.0	- <del>7.</del> 7	-10.6 -38.5	-30.8	なしなし
12	16.7	-50.0	-33.3	-58.3	-25.0 -27.3	-9.1 -16.7	-25.0		-36.5 -41.7	-30.6 -25.0	なし
3	7.7	0.0	-აა.ა 7.7	-36.3 -23.1	-27.3 -16.7	0.0	0.0	-8.3 7.7	-41.7 -15.4	-25.0 -25.0	なし
	7.7	-38.4	-23.1	-30.8	-8.4	-7.7	-15.4	-23.1	-38.5	-7.7	なし
2024 6 9		30.4	۷٠.۱	00.0	0.4	<i>'</i> -:/	1.7.4	<u> </u>	JU.J		<u>'</u> &U
12				<b></b>			<b>†</b>	<b></b>			
12 3						<b> </b>	<b>†</b>	<b></b>			·
<u>_</u>	<u> </u>						1				